
歯科衛生士学科研究会講演抄録

第 33 回：11 月 25 日（木） セミナー

**歯科衛生士のための心理学〈2〉
—カウンセリングの基礎—**

山田 隆文 助教授

患者さんは歯に対する種々の恐れや不安を持って来院する。人が生まれてからの種々の欲求の変化を知った上で、患者さんに合わせた適切な歯科治療を行うばかりでなく、患者さんを一個の人間として観る全人包括的歯科治療がこれから求められ、心理的なフォローも重要な医療の一部になってくる。実際に、患者さんの悩みを聴いてあげるためのカウンセリングの基礎である、観察の方法・傾聴・質問法・確認の方法などについてまとめた。

**本学学生のう蝕経験実状調査
—平成11年度 歯科健診より—**

江川 広子 講師

本学学生のう蝕経験の実態を調査し、以下のとおり検討し報告した。1. わが国の平成5年歯科疾患実態調査における同年齢層との比較 2. 前記調査を以下の2つの集団に分けて比較 1) A群：一般集団〈1学年〉で、ほとんど歯科教育を受けていない集団 2) B群：特殊集団〈2学年〉で、1年間歯科教育を受けた集団 3. 歯科衛生士学科と歯科技工士学科との比較

今後、この調査結果から歯科教育を行う上でのモチベーションに繋げたい。

**口腔常在菌による肺炎と
胃食道逆流との関連**

福島 祥紘 教授

口腔ケアに関連して、胃液と口腔常在菌の混入が老人性肺炎の原因となる事を指摘した。

第 34 回：12 月 9 日（木）

骨芽細胞と荷重

佐藤温重 教授(技)

骨芽細胞の全身性・局所性制御における荷重の影響の分子機構について総説した。無重力下では、培養骨芽細胞のシグナル伝達、増殖関連遺伝子発現が抑制され、また、破骨細胞分化因子の分泌が促進される。

無荷重によって発症する骨粗鬆症は、骨芽細胞における増殖因子応答性の遺伝子の抑制と傍分泌性の破骨細胞分化因子の亢進など複合要因で生ずることが示唆される。